

こたえ 杞憂

基礎 ④

杞憂

(中国の古い話)

昔、中国の杞という国に、心配性の男がいました。

ある日、男は、空を見上げて考えこみました。「もしも、空がくずれ落ちてきたら、どうしよう。地面がしずんでしまったら、どこへにげればよいのだろう。」

男は、そのことが心配で心配で、夜もねむれず、食事ものどを通らなくなってしまいました。

その様子を見て、友人がやってきて、男に言いました。

「空というのは、空気が集まってできているだけだ。わたしたちは、一日じゅう、その中で体を動かし、息をしているじゃないか。くずれ落ちてくる心配はないよ。地面も、土がぎゅっしりつまっているのだから、しずんでしまうことはないさ。」

それを聞いた男は、ようやく安心して、大いによろこびました。友人も、男が元気になったのを見て、よろこびました。

心配することは、悪いことではありません。けれども、起こりそうもないことを心配しすぎると、毎日楽しくすごせなくなってしまいます。

この話から、必要のない心配をすること、取りこし苦勞のことを、「杞憂」というようになりました。

1

男は、どこの国の人ですか。

き

という国

2

男が心配していたことは、何ですか。

ア

空がくずれ落ちたり、地面がしずんだりすること

イ

作物がとれなくなる

ウ

友人がいなくなる

3

心配のあまり、男はどうなっていましたか。

夜もねむれず、

食事

ものどを通らなくなった。

4

「杞憂」の意味に合うものに、○をつけましょう。

ア

必要のない心配をすること

イ

空をよく観察すること

ウ

友人を大切にすること